

学習課題

みんなで解決したい問い

登場人物の気持ちの変化を想像しながら読み、感想や考えたことを「ごん日記」と「ごんへの日記」にまとめよう。

主体的に学習に取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

- ⑦ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにする。(1)オ

考えること・表すこと

思考・判断・表現

- ④ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する。(C)1エ
- ⑤ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ。(C)1オ

くふうして学ぼうとすること

- ⑧ 『ごんぎつね』を繰り返し読み、「ごん日記」「ごんへの日記」を何度も書き直ししながら、自分の考えをまとめたり、伝えたりしようとする。



振り返りの観点

【この単元を通した振り返り】

- 登場人物の気持ちの変化を想像するとき、どのようなことに気がつきましたか。
- 日記を書くとき、どのようなことに気がつきましたか。

【第2ステージ (5) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

評価 ㉔ ㉕ ㉖

- ③ 登場人物の行動や気持ちを捉えるために、第1場面から第6場面に小見出しをつける。
- ④ ごんの様子や行動、気持ちや性格を表す語句の意味を話し合う。
- ⑤⑥ 複数の場面の叙述を結び付けながら、ごんの気持ちの変化を想像し、ごんの立場になって「ごん日記」を書く。
- ⑦ ごんに対する兵十の気持ちの変化を想像し、読み手としてごんに語りかけたいことを「ごんへの日記」として書き留める。

【第3ステージ (1) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

評価 ㉓

- ⑧ 「ごん日記」と「ごんへの日記」を友達と交換して読み合い、互いの考えを共有する。また、「登場人物の気持ちを変想像して日記を書く」という言語活動を通して身につけた力を振り返る。

【第1ステージ (2) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ① 『ごんぎつね』を読んだ感想や考えを「ごん日記」「ごんへの日記」にまとめて友達と共有する学習の計画を立てる。
- ② 「日記」を書くというゴールをイメージするとともに、気持ちの変化をどのように読んでいくか見通しをもつ。

スタート



【この単元に関わって知っていること・できること】

どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか？

物語の内容を伝え合う活動を通して、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述をもとに捉える。



小学校4年『ごんぎつね』授業のポイント

単元名 登場人物の気持ちの変化を想像し、日記にまとめよう



本教材は、主人公である「ごん」の行動や心情の変化を中心に描かれた物語です。ごんの行動や気持ちの変化に大きく関わっているのは「兵十」です。兵十の言動や行動によって、ごんの気持ちは大きく揺れ動きます。兵十に対してのごんの思いは兵十に伝わり、物語は進み、山場を迎えます。

1 単元で身に付けたい資質・能力

本単元では、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて捉える力をつけます。場面の様子や登場人物の気持ちや性格を表している語句に注目しながら読んでいくことができるようになります。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	● 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 …(1)オ
思考・判断・表現	◎ 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。…C(1)エ ● 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。…C(1)オ
主体的に学習に取り組む態度	● 語句の量を増すことと登場人物の心情の変化などを具体的に想像することに向けて、粘り強く学習を調整しようとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、主人公であるごんの気持ちの変化を考え、日記を書いていきます。もしも、ごんが日記を書いていたらどのような日記になるかを想像するのです。

第2ステージ⑤の段階において、各場面の揺れ動くごんの気持ちを想像し、その変化を話し合ったうえで、ごんに同化しながら心の声（つぶやき）を書きつづけていきます。そして、⑥の段階でそれらを合わせて、「ごん日記」「ごんへの日記」として完成させます。言語活動として設定した「ごん日記」「ごんへの日記」を通して、目標の実現状況を評価します。

【ごん日記】の例

兵十、おれのつぐないに気づいてくれてありがとう。おれはずっとぼちぼちでさびしかったんだよ。だから、おれのいたずらのせいで兵十がひとりぼっちになつてこわいし。だから兵十だ。だからつぐないを続けたんだ。神様のしわざと思われたときは、ひきあわれないと思つたけれど、つぐないを続けたよ。
兵十、ごめん。そして気づいてくれてありがとう。
(二七六字)

解説

複数の場面の叙述を結び付けながらごんの気持ちの変化を想像し、ごんの立場になって「ごん日記」を書く。書き手として「ごん」になりきることで、登場人物の気持ちの変化を具体的に想像することにつながる。

おれはずっとこうかいていたんだ。おれのおつかあはうなぎを食べられずに死んでしまった。そして、兵十はひとりぼっちになつてしまった。ひとりぼっちがどんなにさみしいか、おれはよくわかつている。だから兵十につぐないを続けたんだ。おれのつぐないが兵十に伝わってうれしいよ。
(二四三字)

ワンポイント

「ごん日記」に加えて、「ごんへの日記」にも挑戦!!

ごん。つぐないによやく兵十が気づいてくれたね。きつとうれしい気持ちでいっぱいだよ。わたしも友達とけんかをしてひとりぼっちになったことがあるんだ。でも、友達が先に「ごめんね」とあやまってくれて直りできたんだ。だからと、つぐないだよ。おれもつぐないが兵十に伝わってうれしいよ。
(二四七字)

解説

ごんに対する兵十の気持ちの変化を想像し、読み手である子どもがごんに対して語りかけたいことを「ごんへの日記」に書く。読み手である自分が書くので、ごんと兵十の関係にも着目して読むことにつながる。



ラーニングマウンテンについてはこちらから

ラーニング・マウンテン
— 学びのプランを立てよう —

たん
単元名〔

〕全()時間



みんなで解決したい問い

わかること・できること

考えること・表すこと

くふうして学ぼうとすること

【第3ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉



ゴール

【この単元を通したふり返り】

【第2ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

【第1ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

スタート



【この単元に関わって知っていること・できること】